



週報



第1回例会(設立例会)概要

◆会場 竹乃屋福岡空港店 ◆時間 11:15 ~ 12:00

◆参加者 合計 25名

会員21名(現地20名 ZOOM1名)

ゲスト0名(ビジター6名(現地5名 Zoom1名))

出席率:84%(21/25)

◆本日のプログラム

1. 国歌斉唱、ロータリーソング(ソングリーダー 舌間会員)、四つのテスト唱和(祐恒会員)
2. 来賓紹介
3. 会長挨拶、幹事報告
4. バナー交換・バッジ授与式
5. 誕生日祝い、ニコニコ報告
6. 会長所信表明、幹事所信表明



会長挨拶 田村志朗

みなさん、こんにちは。

本日は、福岡エアポートロータリークラブの創立例会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

私たちのクラブは、11月5日にRIから正式な認証を受けました。そして今日12月3日、6回にわたる準備例会を経て、いよいよ“クラブとしての正式なスタート”を迎えることができました。

この「はじまりの日」に一つの歴史的な瞬間を思い起こしました。

1903年12月17日——ライト兄弟による人類初の飛行。

飛行時間は12秒、距離は36メートル。

それでも、この小さな挑戦が世界の移動手段や経済、人々の価値観まで変えていきました。そして象徴的なのは、弟のオービル・ライトがロータリアンであったことです。空の可能性を切り拓いた人物が、奉仕の精神を大切にしたという事実は、空港を拠点とする私たちのクラブにとって大きな縁を感じます。

ライト兄弟の言葉として、私は特にこの一節が好きです。

「If we all worked on the assumption that what is accepted as true is really true, there would be little hope of advance.」

（世の中の当たり前をそのまま信じていたら、前進に希望はない。）

この言葉は、まさに今日の私たちに重なります。

実はこの「前進の本質」をより深く掘り下げた本があります。

航空工学者・佐貫亦男氏の『不安定からの発想』（講談社学術文庫）です。

本書で佐貫氏は、ライト兄弟がなぜ空を飛べたのかを、“逆転の発想”で説明しています。彼らは「機体を安定させる」のではなく、「空という予測不能な環境は不安定なものだ」と認め、その不安定さを“自ら操縦して制御する”ことを選んだ。

過度の安定を求めず、不安定さを前提に、自分の手で舵をとる。

それが飛行成功の核心だったと述べています。

佐貫氏はこう書いています。

われわれは人生を、また社会を、手放し飛行で飛んでいるのではない。

不安定であっても、自ら操縦し、制御する能力と責任と可能性がある。

不安定な状況のときこそ、積極的に変革しやすいのだ。

私は、この考え方が、私たちのクラブのスタートにもそのまま当てはまると感じています。

私たちは、スポンサークラブを持たない“独立系クラブ”として立ち上がりました。

地区でも13年間、新しいクラブが生まれていなかった中で挑んだ“逆転の発想”でした。

福岡空港という“世界への交差点”を拠点に、リアルとオンラインを組み合わせ、月2回の例会で誰も取りこぼさず、

DXを活用し、メンバーの多様な強みを生かしていく。

いずれも、従来のロータリーの「安定的な形」から一歩踏み出すものです。

しかし、佐貫氏が述べるように、不安定を恐れず、自ら操縦するからこそ、変革の力が生まれます。

25名のチャーターメンバーが、それぞれの力を重ね合わせ、6回の準備例会を積み重ねたからこそ、今日という日を迎えられました。

私たちのこの一歩は、ライト兄弟の12秒の飛行のように、決して大きなものではないかもしれませんが、けれども、確かな前進です。

このあと幹事報告、委員会報告に続き、私から所信表明として今後の方向性を簡潔にお伝えします。どうか今日という創立の日を、私たち自身の“初飛行の日”として、心に刻んでいただければ幸いです。

ここから、私たちの新しいロータリーが始まります。本日は本当にありがとうございました。



幹事報告 入江良太郎

本日より正式発足。出席率のカウント開始、欠席者はメイクアップ必須。

次回（第2回例会）は年次総会：役員選挙、中間報告を実施予定。

緊張感を持ち、クラブ運営を進めていく旨を表明。



バナー交換・バッジ授与式

小郡ロータリークラブ 野崎千尋様よりバナー交換。

チャーターバッジ授与：毛利会員代表。



誕生日祝い

松尾会員（12月3日生まれ）を祝福。スクラッチくじでのお祝い演出。



ニコニコ報告

福岡エアポートロータリークラブの創立を心よりお祝い申し上げます（地区副ガバナー野崎千尋様 小郡RC）

第1回目の例会おめでとうございます。本日はよろしく願いいたします。田村さん、会長方針たのしみにしています。（岡本勇治様 鳥栖RC）

田村会長、入江幹事はじめ福岡エアポートRCの皆様、新クラブの設立おめでとうございます。これからも同じロータリアンとしてよろしくお願いします。（橋本道成様 福岡東RC）

本日の創立例会を記念してニコニコいたします。これからもよろしくお願いいたします。（田村会長）

本日、記念すべき福岡エアポートロータリークラブ第1例会がとり行われることを大変うれしく思います。今日から良い歴史がはじまります。楽しいロータリーライフになりますよう幹事として、しっかり活動して参ります。（入江幹事）

創立おめでとうございます。本日誕生日。税理士試験の最後の科目に合格しました。（松尾会員）

ようやく歩み出しました。皆さまと楽しく進んでいけますように。よろしくお願いします。（藤川会員）

福岡エアポートロータリークラブ創立おめでとうございます。新しいクラブでニコニコできる事を嬉しく思います。（桑野会員）

創立おめでとうございます。新しいロータリークラブの立上げに参加でき光栄です。これから、末永く続くことを願います。（毛利会員）

10/2、11/11それぞれ国際ソロプチミスト福岡北、福岡博多ライオンズクラブのキャリティゴルフコンペへ参加いただいた宮島会員、入江会員、上村会員、祐恒会員ありがとうございました。11/23.24北九州で行われた予防医療普及協会主催の運営ボランティアに賛同し、学生へお声かけ頂いた藤川会員とボランティアに参加された藤川学園の学生2名の方、ありがとうございました。新クラブの創立に関して会長、幹事、会員皆様へ、全ての事に感謝しニコニコします。（青屋会員）

会長所信表明(田村志朗 会長)



- テーマ：「空港から世界へ、福岡から未来へ」
- 基本理念
 1. ロータリーは「地球に対する家賃を払う営み」。
 2. 奉仕は自己犠牲ではなく「与える奉仕」。恩を受けたら次の人へ回す「恩送り」の循環型奉仕を重視。
 3. 仲良しの集まり（フレンドシップ）ではなく、共に考え・行動し・奉仕する関係（フェロシップ）を基盤にする。
- 重点方針
 1. 一業種一社の徹底：異業種が補い合う環境を整備し、持続可能な奉仕を築く。
 2. DXの積極導入：クラブアプリやオンラインツールを活用し、誰も取りこぼさない仕組みを整える。
 3. 寄付の仕組み化：会費に寄付を組み込み、継続的支援を制度化。
 4. フェロシップの重視：会員プロフィールカードを作成・共有し、奉仕活動の基盤にする。
- 奉仕の6つの柱
 1. 職業奉仕を基盤とした地域・国際貢献
 2. 次世代育成と若手リーダー支援
 3. 国際理解と平和の推進（グローバル補助金挑戦）
 4. SDGsの実践による持続可能性の追求（ペーパーレス週報・食事なし例会）
 5. 仲間を信じ助け合う文化の定着
 6. 「あなたのこれからがあなたのこれまでを決める」理念の共有

幹事所信表明(入江良太郎 幹事)



- テーマ：「つなぐ力で動き出すクラブへ」
- 重点奉仕項目
 1. 基礎体制の確立：会則・細則制定、例会運営ルール明文化、会計処理の透明化、出席管理の仕組み化。
 2. DX活用：クラブアプリで出欠・会費・連絡をオンライン化、資料はペーパーレス化。
 3. 正確・迅速・誠実の三原則：記録や会計を誤りなく処理、連絡は例会翌日までに配信。
 4. 透明な情報共有：LINEやクラブアプリで全員に同じ情報を同時に伝達。
 5. ルールが人を守る文化：運営マニュアルを整備し、新入会員にも分かりやすい仕組みを構築。

今後の予定

例会

12/17（水） 第2回例会（年次総会）卓話 地区ロータリー財団委員長 中村光様

1/7（水） 第3回例会（クラブ協議会①）

1/21（水） 第4回例会（チャーターナイトと同日開催）

2/4（水） 第5回例会（卓話：戸嶋和夫 ガバナーエレクト）

3/18（水） 第8回例会（会員卓話）

行事

1/21（水） チャーターナイト（認証状伝達式・祝賀会／竹乃屋福岡空港店 18:00～）

2/14（土） 第4グループIM（インターシティミーティング／第6回例会扱い）

3/8（日） 地区大会（第7回例会扱い）

週報チーム 武田啓詩 写真 竹下誠雄
